

1月

九段会館が建替えられます

パース図（事業者作成）



※本図は提案時の内容であり、事業者による今後の協議等により変更になることがあります。

九段会館は昭和9年に「軍人会館」として帝冠様式で建設されたもので、戦後は連合国総司令部（GHQ）が接收。接收解除後は国が日本遺族会に無償貸与し、ホテルや結婚式場、貸ホールとして運営していた。

平成23年3月11日の東日本大震災の折に大ホールの天井が崩落し死亡事故が発生し日本遺族会は会館の営業を停止し土地建物を国に返還。

その後、関東財務局は土地建物の処理方針として建物の一部（帝冠様式ファード）を保存しつつ、高度利用する事業者を入札で決めることとし、昨年9月に東急不動産㈱が落札。条件は既存建物を東急不動産㈱が買い取り、土地は定期借地権方式で国から70年間借りることで落札。地上17階・地下3階のビルを新築する。

尚、建て替え後も国は新築ビルの低層部の一部を購入し、日本遺族会に無償で貸し遺族の福祉目的の事業などに利用される計画です。

建て替えにあたり、区は会館裏の「牛ヶ淵濠」沿いに遊歩道を設け一般開放をし、濠沿い遊歩道と内堀通り（区役所前の通り）を繋ぐ小道を造るなどの要望をしています。

全体鳥瞰（事業者作成）



※本図は提案時の内容であり、事業者による今後の協議等により変更になることがあります。

千代田区議会 議員
千代田区 監査委員

小林やすお

